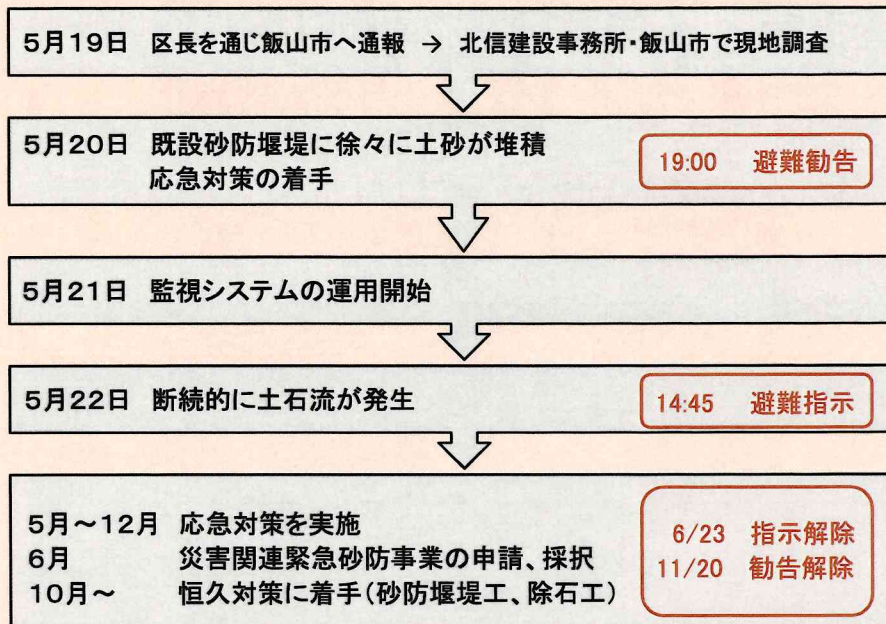


■■■飯山市井出川山腹崩落災害の概要■■■

- 平成29年5月19日、飯山市照岡において普通河川井出川上流山腹の崩落が確認された。
- 崩落規模 幅約150m、長さ約500m
- 主な被害 一級河川出川 護岸決壊、市道の羽広橋上部損傷



■■■応急対策■■■

- 平成29年
- 5月21日 土石流監視システム運用開始(監視カメラ、土石流センサー等)
 - 6月19日 鋼製牛柵4基の設置完了(国土交通省北陸地方整備局より貸与)
 - 6月23日 コンクリートブロック(N=114個)、大型土のう設置による堤防嵩上げ工の完了
 - 8月2日 リングネット工の設置完了(L=17.5m H=3.5m)
 - 12月28日 ブロック堰堤工の完成(L=35.2m H=5.5m N=363個)

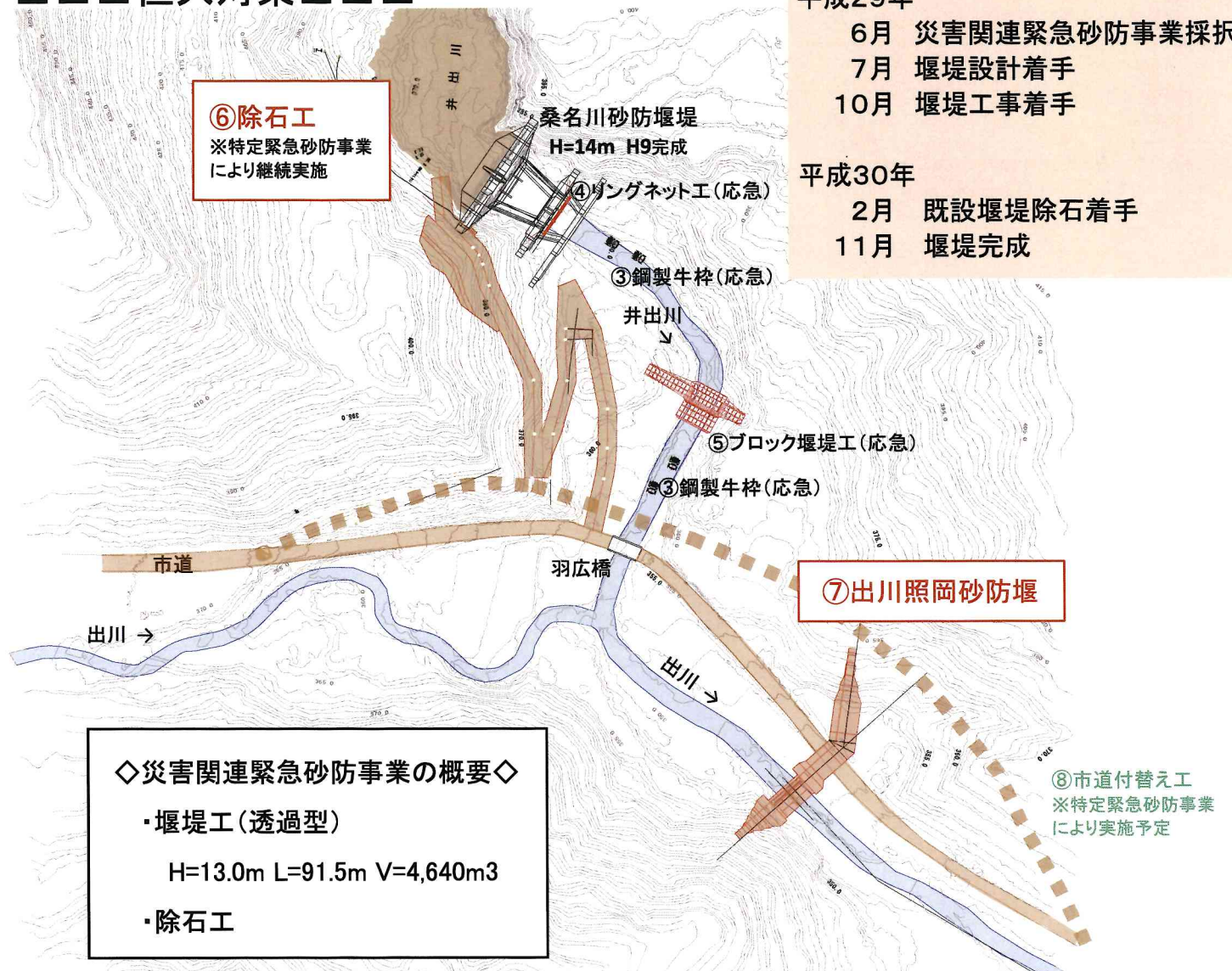


○ 国土交通省からの支援や技術的な助言を受け対策を実施。

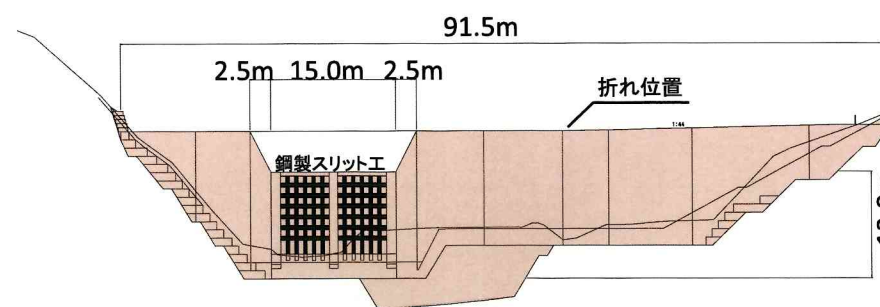
○ 飯山市は24時間体制で現地に監視員を配置。

※④⑤は、災害関連緊急砂防事業により実施

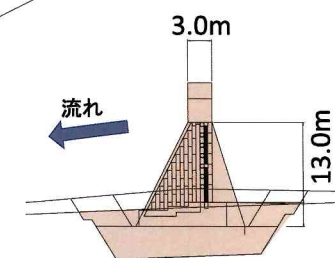
■■■恒久対策■■■

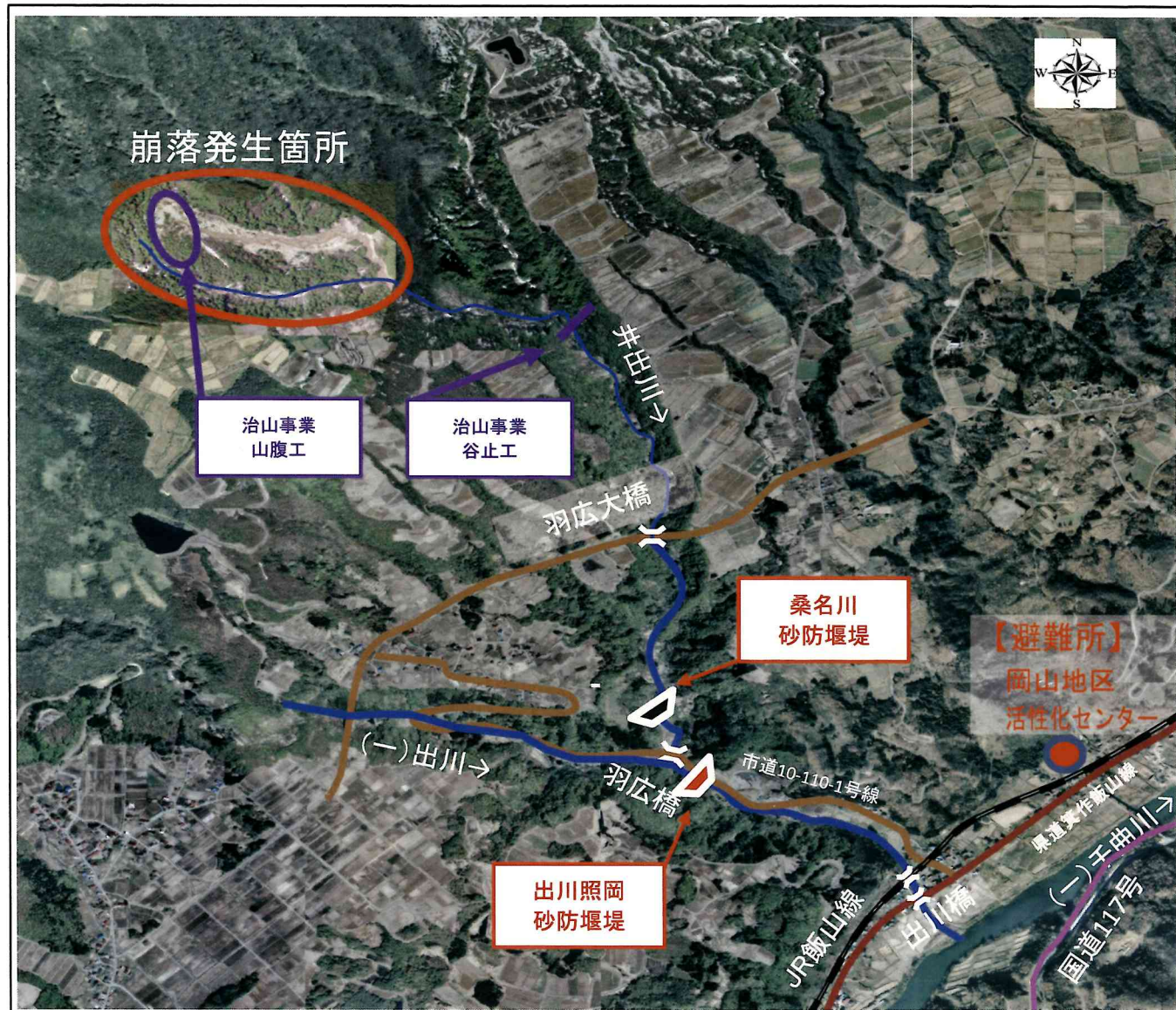


【堰堤正面図】



【堰堤側面図】





土石流を止めた桑名川砂防堰堤



土石流発生前(H24)



大量の流木を捕捉

土石流発生後(H29.5.22)

大規模な山腹崩落により、断続的な土石流が発生しましたが、下流に整備されていた桑名川砂防堰堤(平成9年完成)が、土砂及び流木を捕捉し、下流域への被害を軽減しました。

災害関連緊急砂防事業

出川照岡砂防堰堤 祝 完成



平成30年11月27日



長野県北信建設事務所



飯山市